

冬の 自然体験フェス



令和4年1月10日(月・祝)
会場：札幌市青少年山の家

防災炊事(サバイバルクッキング)

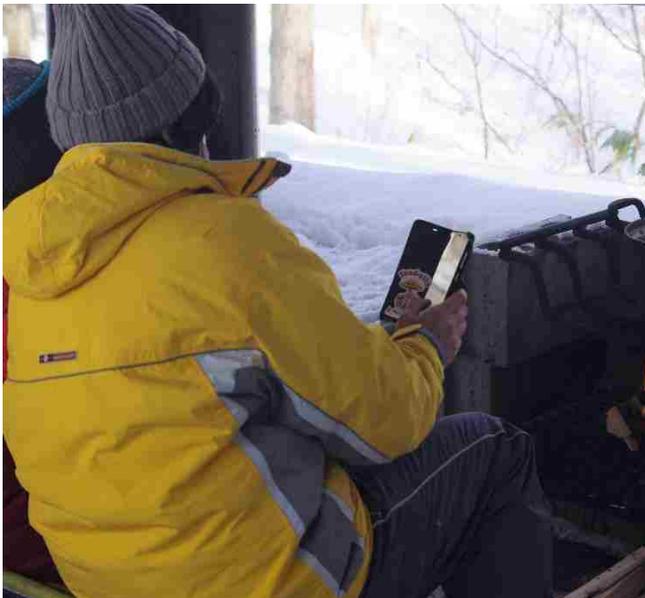
火の
体験ゾーン



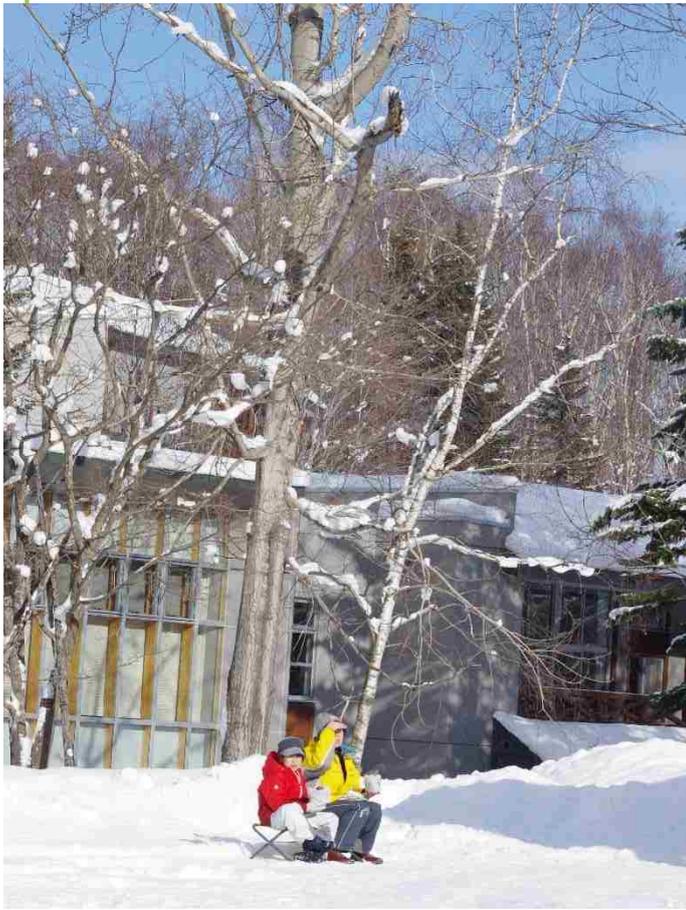
山の家のプログラム「防災炊事」体験コーナー。

薪を割り、沸かしたお湯の中に耐熱ポリ袋に入れたお米とレトルトカレーをいれて、お湯で調理する体験をしました。

災害時などに電気やガスが使えない状況でもご飯を炊く方法を学びました。



マッチを使ったことがない子どもたちも多く、保護者が教える姿が見られました。薪の炎もなかなか見る機会がないので、とても新鮮な体験だったようです。



新聞紙を折ってお皿を作り、カレーライスを食べました。

焚火で焼きマシュマロ



午後からは、防災炊事と同じ場所で焼きマシュマロを提供しました。
ここでも、親子が楽しそうに会話をしながら、火に親しむ姿が見られました。

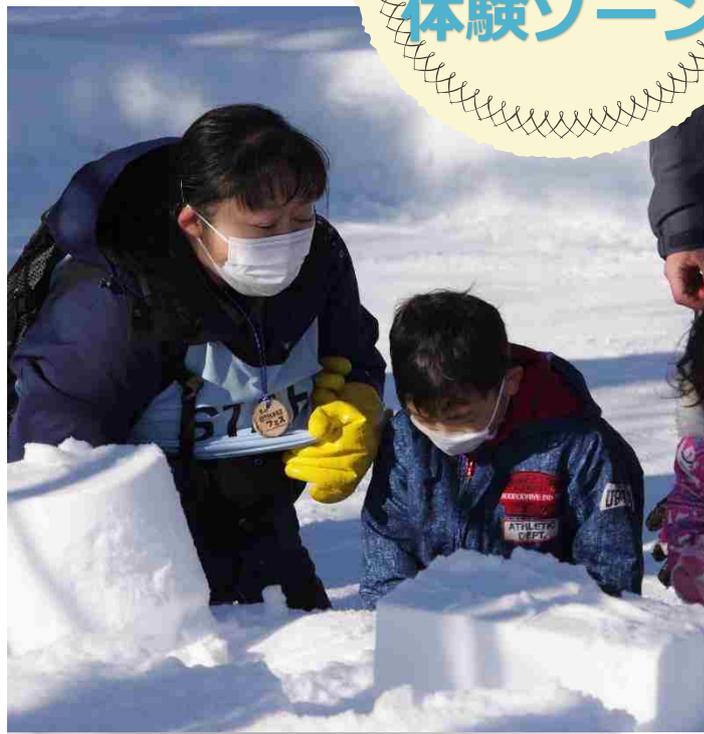
キャンプファイヤー



テントサイトでは、集団活動ならではの楽しさが味わえる、キャンプファイヤーをしました。ファイヤーゲームを通じて、あっというまにみんなが笑顔になりました。珍しい昼のファイヤーでしたが、雪の白に炎が映え、その美しさや迫力にも子どももおとなも、じっと見入っていました。

スノーキャンドルをともしよう！

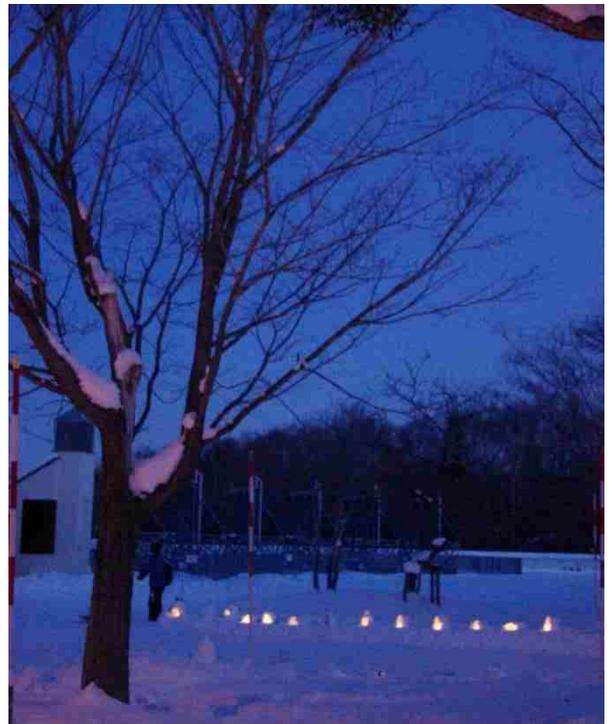
雪の 体験ゾーン



身近な場所でもできるスノーキャンドル作りですが、崩れてしまったり、穴あけに失敗したりと、上手に作るのは意外と難しいです。

林間学校の指導者からポイントをアドバイスしてもらい、工夫しながら集中して作っていました。

「家でもやってみたい」「アイスクャンドルも作ってみたい」という声もありました。



暗くなってくると、澄んだ空気の中、通路に並んだキャンドルがキラキラと光ってとてもきれいでした。

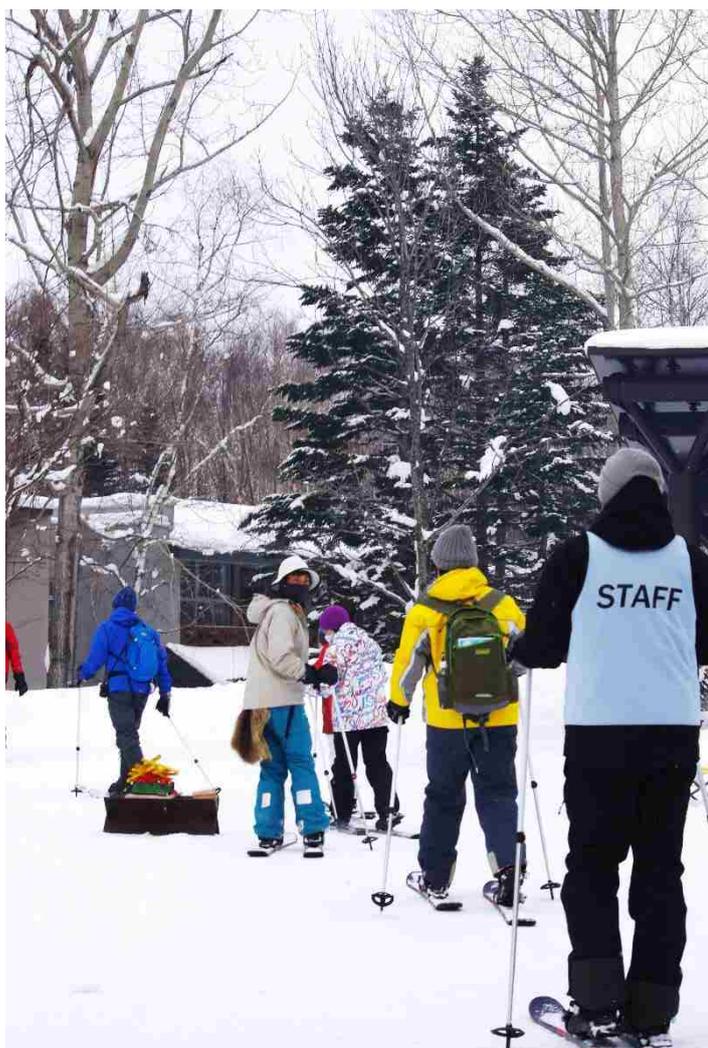
スノーシューでおさんぽ



ビンゴカードを使って動物の足跡や植物探しなどをしながら、スノーシューでミニハイキングを楽しみました。

参加者からは、おもしろい発見がたくさんあり、身近な場所でも自然探しをしてみたいとの声がありました。

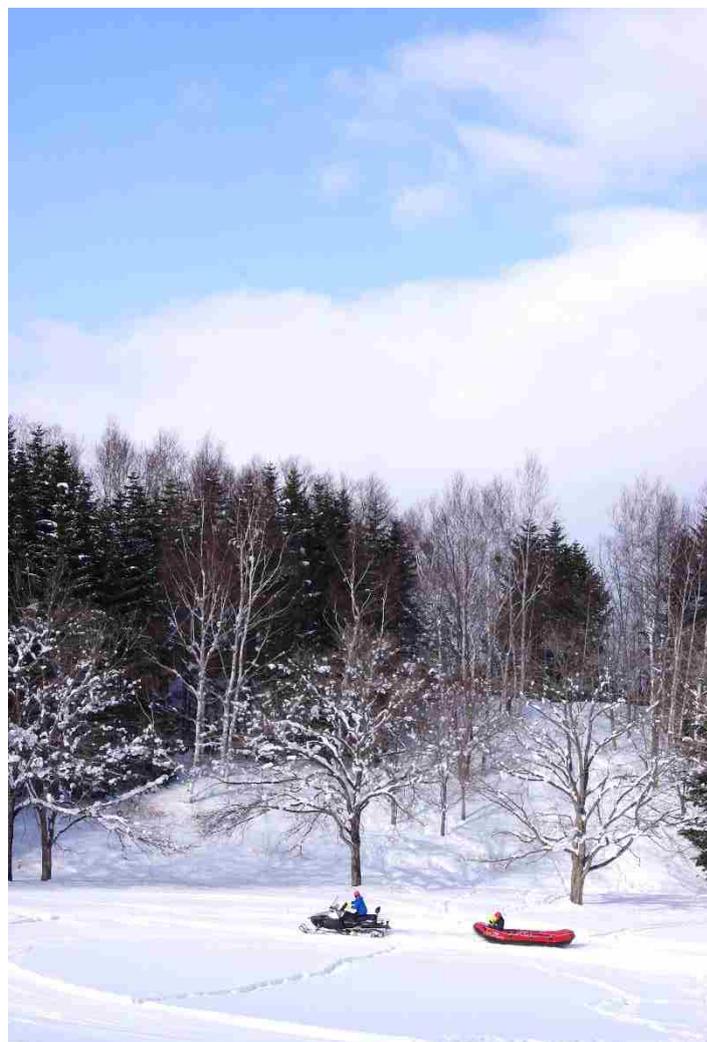
スノーハイクをはいて森に出かけよう



スノーハイクは、札幌ではまだ珍しい冬のアクティビティです。

みんなが初体験でしたが、自分の靴にスキーを装着し、滑ったり、登ったり、転んだり（！）を楽しみました。

スノーラフト体験



これが一番楽しみ！という子もたくさんいた、スノーラフト。

澄んだ冷たい空気を切って、雪を巻き上げて走るスピード感に、歓声がおこっていました。

楽しいよ！林間学校

活動紹介 ゾーン



林間学校での体験活動のエッセンスを紹介するコーナー。

スクリーンで「薪割、火起こし」の動画を流しながら、薪割からマッチでの着火までを体験してもらいました。

アンケートでは、このコーナーが一番楽しかった！との声もありました。

山の家給食体験



感染症対策をしっかりとって、希望者に給食を提供しました。

宿泊学習以外にも山の家を利用できる、ということが意外と知られていないので、施設のアピールにもなったのではないのでしょうか。

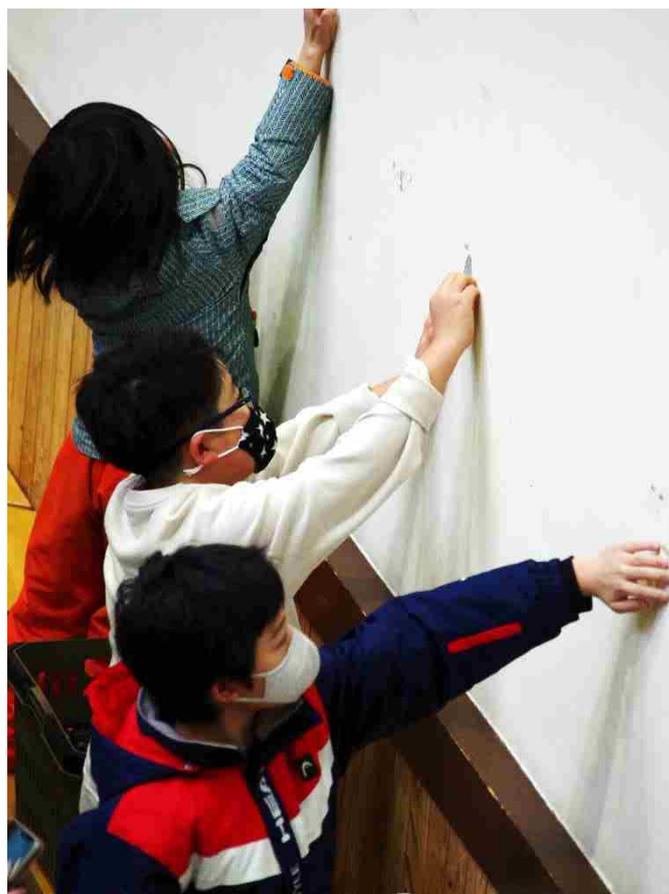
森のピタゴラス

ワーク
ショップ
ゾーン



木のぬくもりに触れながら、コースを作ってビー玉を転がし、ゴールを目指します。
時間を忘れて黙々と取り組んでいる子がたくさんいました。

みる・見る・観る



自然のこと、生き物のこと、それらになりきってみんなで一緒に体験。
遊びながら考えました。

バードコール作り



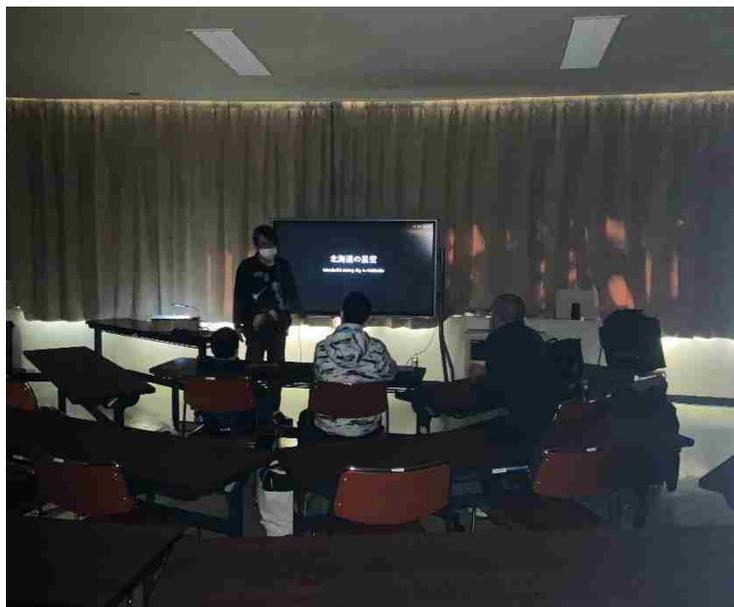
ネジを回すと、「キュキュキュッ」と音がするバードコールを作りました。
さっそく外で鳴らして楽しんでいる子どもたちもいました。

マイ箸作り



木をやすりで削って、オイルを塗り込みます。
一生懸命作ったマイ箸、お家でも大切に使ってほしいです。

星の世界に触れてみよう



夜空の星について、たくさんの美しい写真とともに、詳しく解説してくれました。

